

## 現場説明書（技術的事項）

工事名 旧出原浄水場解体工事

### 1. 現場の状況

工事場所は、福山市北本庄五丁目地内に位置し、南側には住宅が隣接しています。

北東出入口については、出原浄水場用地への出入りのため、福山市上下水道局発注工事の車両も利用しますので、十分な注意を払ってください。

### 2. 別途工事

なし

### 3. 留意事項

- (1) 工事に当たっては、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。また、工事工程表・工事内容の説明書を作成し、近隣住民等へ配布し周知に努めてください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては、交通の妨げにならないよう十分な対策を講じてください。また、通行者等第三者の安全を第一に図ってください。なお、東側道路は樹徳小学校の児童通学路となっているため、工事車両等は登下校時間帯を避けて出入りしてください。
- (3) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等ないように注意してください。
- (4) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理（舗装・構造物等の保護養生及び補修等）は、受注者で行ってください。
- (5) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (6) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (7) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (8) 重機や産業廃棄物の搬出入、出入口付近の仮囲い設置・撤去に際しては、必要に応じて交通誘導員を適切に配置した上で徐行運転及び一旦停止を行ってください。なお、交通誘導員の配置については、154人を見込んでいます。

- (9) 重機作業等については、十分な振動・騒音・粉塵対策を講じてください。
- (10) 解体に使用する重機は圧砕機での施工を想定しており、騒音・振動計の設置・測定（1台）が含まれています。
- (11) 高所作業に当たっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。
- (12) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出してください。
- (13) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)の対象工事に該当するため、特定建設資材の再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (14) 工事施工上必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (15) 受注者は、地元企業及び地場製品の活用に努めてください。
- (16) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

# 旧出原浄水場解体工事

福山市建設局建築部営繕課				発行	2025年 5月	
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長	

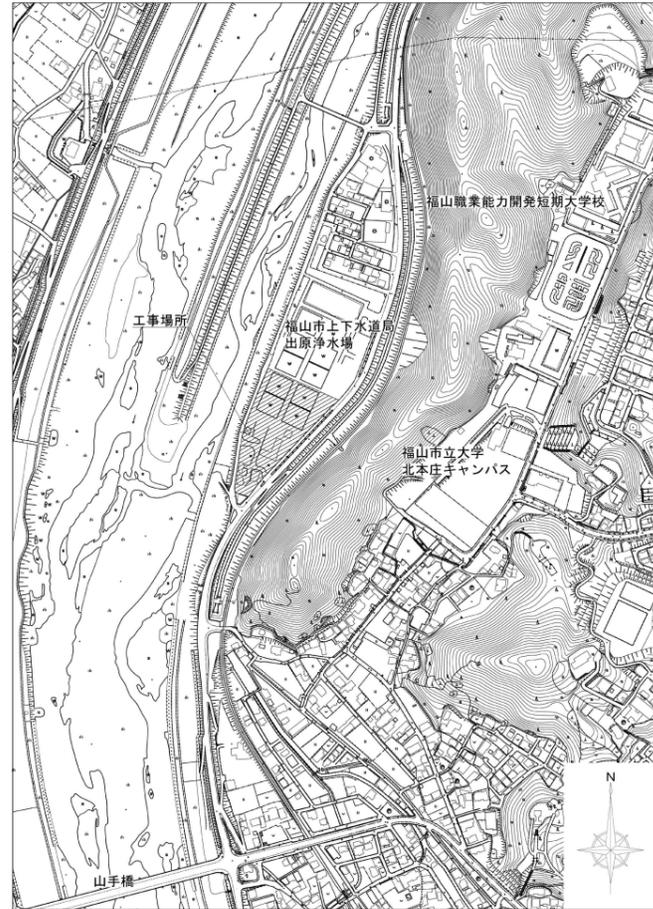
訂正	月日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所 TEL 084-922-3213 一般建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計-建築士 第 号	担当 -	設計年月 2025年3月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧出原浄水場解体工事	区 分 解体(D)
			監理設計-建築士 第 号		作図		変更年月	図面名称 表紙



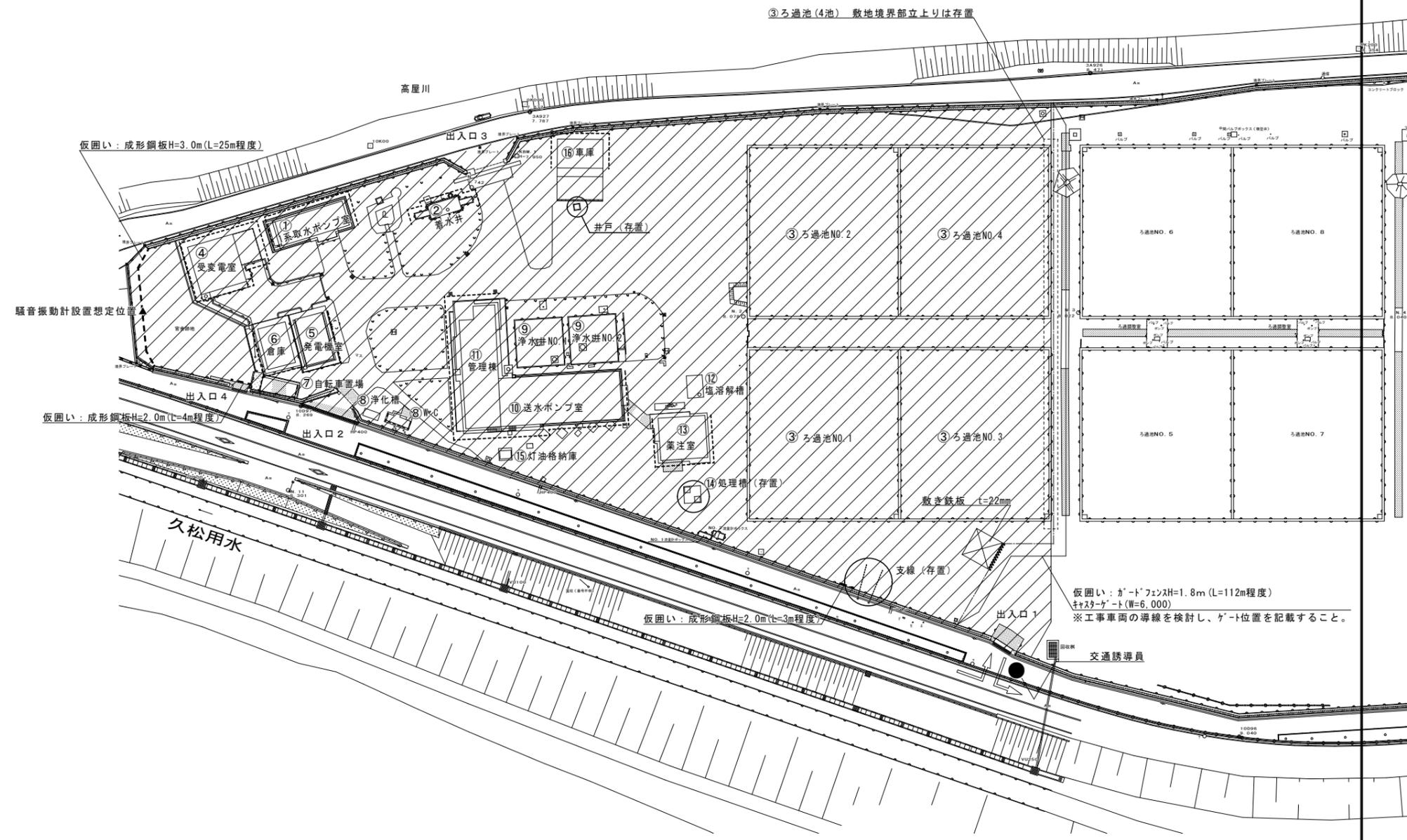


項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項												
⑤ 石綿含有建材の除去及び処理	<p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等</p> <p>① 除去した石綿含有吹き付け材等を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。</p> <p>処分場所 ( ) 運搬距離 ( )</p> <p>受入条件 (※平日受入 )</p> <p>※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。</p> <p>② 石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。</p> <p>5) 確認及び後片付け</p> <p>① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。</p> <p>② 確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。</p> <p>③ 養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。</p> <p>④ 養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。</p> <p>⑤ 壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。</p> <p>⑥ 養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体搬出する。</p> <p>⑦ 床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。</p> <p>⑧ 養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理等を行う。</p> <p>⑨ 後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。</p>	⑤ 石綿含有建材の除去及び処理	<p>なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。</p> <p>5) 確認及び後片付け</p> <p>① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。</p> <p>② 養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。</p>																
5 石綿含有保温材等の除去 (6.4.1~6.4.4)	<p>1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位</p> <p>・ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有保温材等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等</p> <p>① 石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生(負圧不要)を行う。</p> <p>② 作業場の隔離 (・ 行う ※ 行わない)</p> <p>石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落とし・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。</p> <p>3) 作業場の隔離を行う場合は、4 2) を適用する。</p> <p>除去工法</p> <p>※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による除去物の処理 (※ 密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化 )</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等</p> <p>4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。</p> <p>5) 確認及び後片付け</p> <p>① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。</p> <p>② 確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。</p> <p>③ 養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。</p>	石綿含有保温材等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・						
石綿含有保温材等の仕様	使用部位																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
⑥ 石綿含有成形板等の除去 (6.5.1~6.5.4)	<p>1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位</p> <p>・ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等</p> <p>石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。</p> <p>3) 除去工法</p> <p>① 原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生(負圧不要)を行う。</p> <p>② 除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。</p> <p>③ 破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等</p> <p>① 処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。</p> <p>・ 石綿含有石こうボード</p> <p>※ 埋立処分(管理型最終処分場)</p> <p>・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等</p> <p>・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)</p> <p>なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。</p> <p>② 除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。</p> <p>③ 石綿含有成形板等の運搬にあたっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。</p> <p>5) 確認及び後片付け</p> <p>① 関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。</p> <p>② 養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。</p>	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・						
石綿含有成形板等の仕様	使用部位																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		
⑦ 石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去	<p>1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位</p> <p>○ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 吹付タイル</td> <td>・ 外壁、巾木 ※ 受変電室</td> </tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等</p> <p>電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生(負圧不要)を行う。</p> <p>3) 除去工法 (施工場所: ※ 図示 )</p> <p>① 石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗法や剝離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。</p> <p>② 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの飛散を防止する。</p> <p>③ 除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等</p> <p>6 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。</p> <p>処分先については、監督員の指示による。</p> <p>○ 埋立処分 (○ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場)</p> <p>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p>	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・ 吹付タイル	・ 外壁、巾木 ※ 受変電室	・	・	・	・	・	・								
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位																		
・ 吹付タイル	・ 外壁、巾木 ※ 受変電室																		
・	・																		
・	・																		
・	・																		

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



付近見取図 No. Scale



敷地配置図 1:500

- 撤去範囲
- 仮囲い：成形鋼板H=3.0
- 工事車両進行方向
- 仮囲い：ガートフェンスH=1.8
- 交通誘導員
- 仮設足場、防音シート

- 解体範囲
- ・敷地内建築物(工作物含む)は下記内容を除き全て撤去、処分とする。
  - ・付帯建築設備(電気設備、給排水衛生設備、空調設備、ガス設備等)も全て撤去処分とする。
  - ①取水ポンプ室：地下部分は存置
  - ③ろ過池：地下部分は存置
  - ⑭処理槽は存置
  - 井戸は存置(車庫前)
  - 出入口(4か所)は存置
  - 敷地外周部の既設メッシュフェンス及び植栽は存置
  - 支線は存置
  - ※存置部分は詳細図による
  - ・建物内外に残されている物品等は全て撤去・処分する。
  - ・建物撤去は基礎下砕石までとする。
  - ・管理棟のエアコンは、全てフロンガス回収済み
  - ・浄化槽は清掃、埋戻し済み
  - ・取壊し重機は0.8m3程度を想定とし、圧砕機解体とする。
  - ・変更が生じる場合は監督員と協議を行う。
  - ・工事範囲内の舗装等の撤去後整地を行い、発生土が外へ流れ出ないようにする。

建物概要

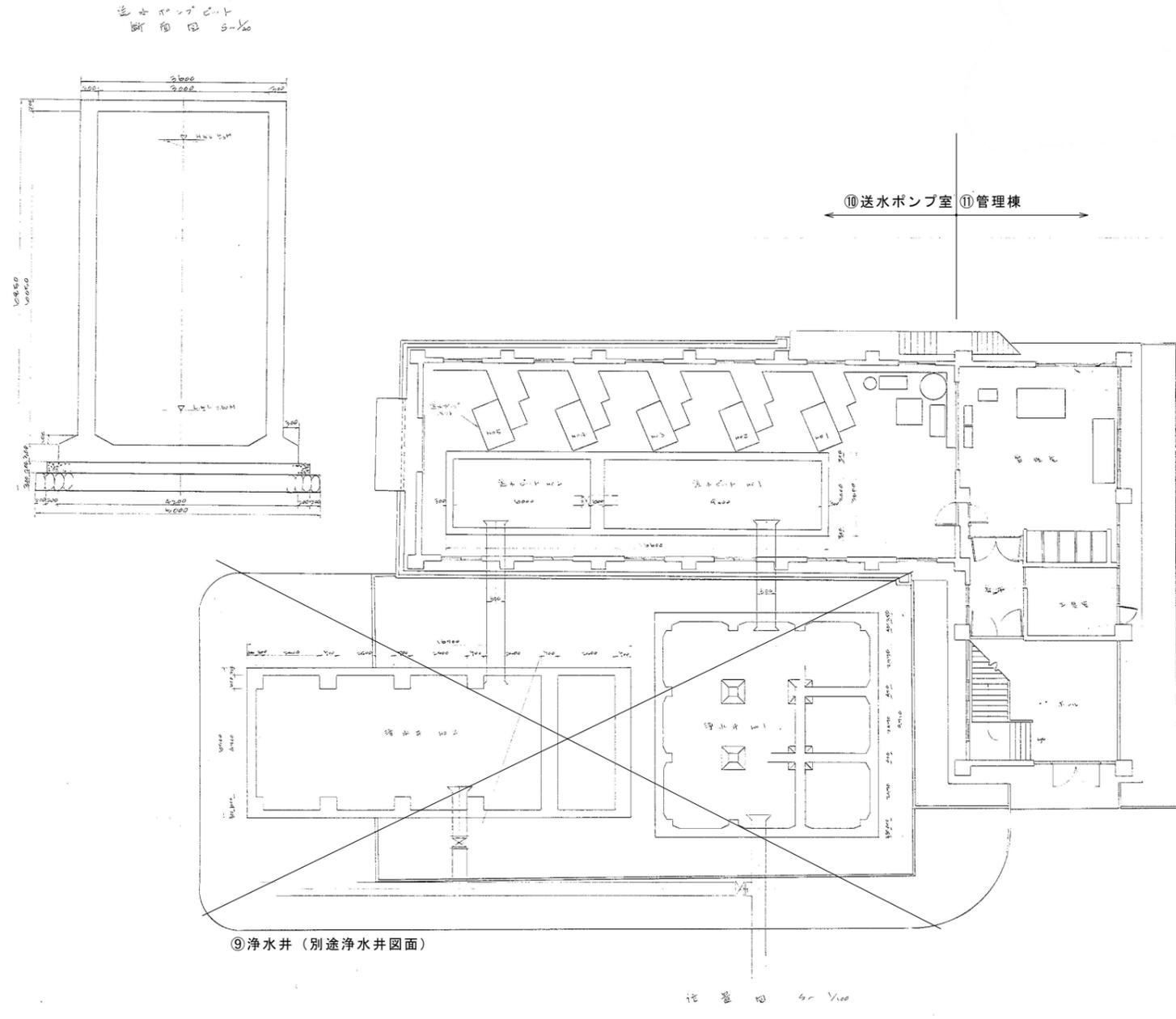
棟名	①1系取水ポンプ室	②着水井	③ろ過池(4池)	④受変電室	⑤発電機室	⑥倉庫	⑦自転車置場	⑧便所
構造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	S造	CB造
階数	地上1/地下2建て	平屋建て	埋設建築物	平屋建て	平屋建て	平屋建て	平屋建て	平屋建て
延べ面積	223.19㎡	16.95㎡	4287.36㎡	120.69㎡	51.81㎡	45.65㎡	17.25㎡	7.28㎡
建築年	1960年	1960年		1969年	1965年	1965年	1965年	1960年
備考	地下一部存置		地下一部存置	外壁7スハシ除去				浄化槽共

建物概要

棟名	⑨浄水井(2池)	⑩送水ポンプ室	⑪管理棟	⑫塩溶解槽	⑬薬注室	⑭処理槽	⑮灯油格納庫	⑯車庫
構造	RC造	RC造	S造/RC造	RC造	RC造	RC造	CB造	S造
階数	埋設建築物	平屋建て	2階建て	-	平屋建て	埋設建築物	平屋建て	平屋建て
延べ面積	188.56㎡	218.40㎡	101.1㎡/252㎡	14.40㎡	84.31㎡	10.89㎡	3.33㎡	49.50㎡
建築年	1960年	1960年	1960年(1995年増築)	1994年	1961年		1971年	1972年
備考						存置		







訂正	月日	


**原設計株式会社**  
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号  
 TEL 084-922-3213 一般建築士  
 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行

構造設計-一般建築士  
 第 号  
 建築設計-一般建築士  
 第 号

担当  
 -  
 作図

設計年月  
 2025年3月  
 変更年月

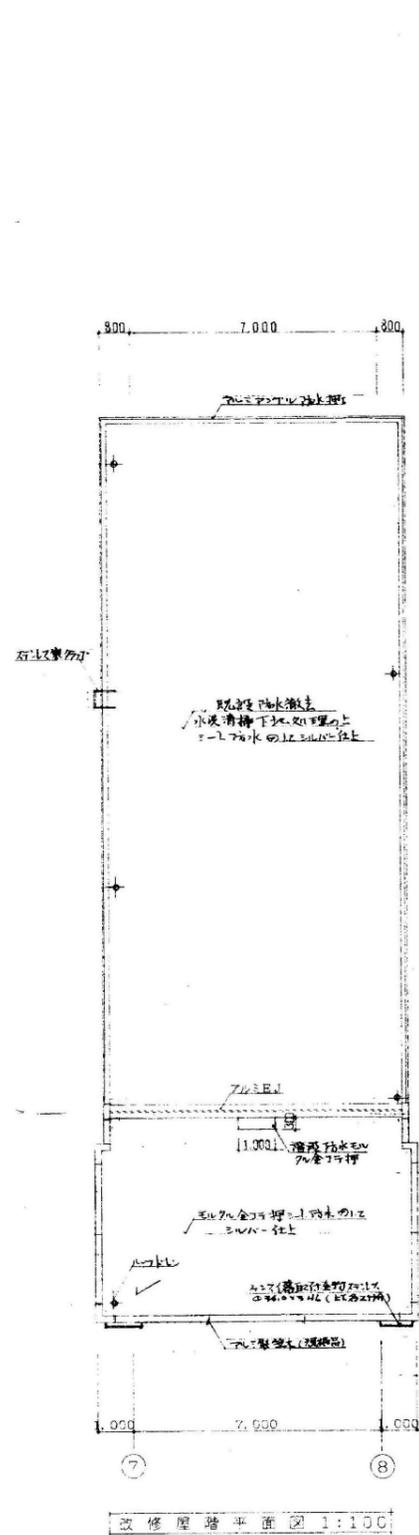
**福山市建設局建築部営繕課**

工事名称  
 旧出原浄水場解体工事  
 図面名称  
 ⑩送水ポンプ室 ビット平面図・断面図

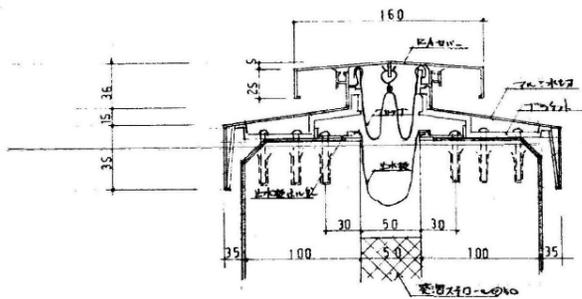
縮尺  
 1:50  
 区分  
 解体(D)  
 図面番号  
 D-106

縮尺率  
 A-1: 100%  
 A-2: 71%  
 A-3: 50%

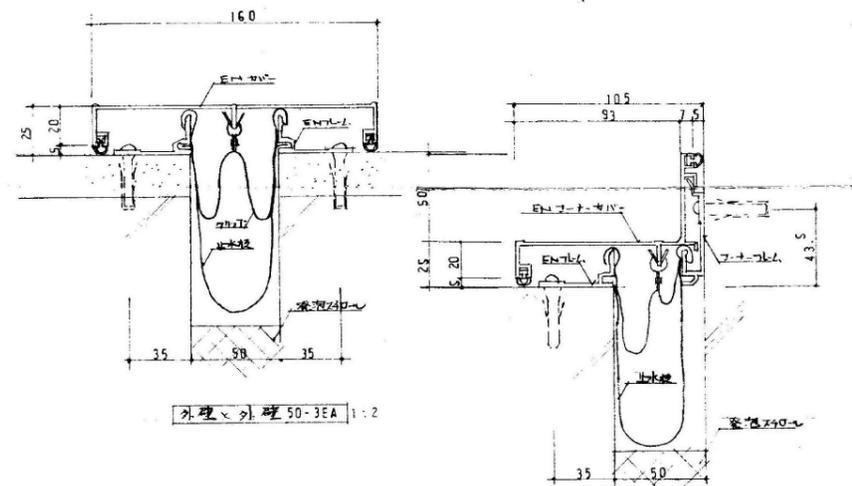




エクスパンションジョイント詳細図 全口汎用型  
(理研観音堂工業, 何齊品)

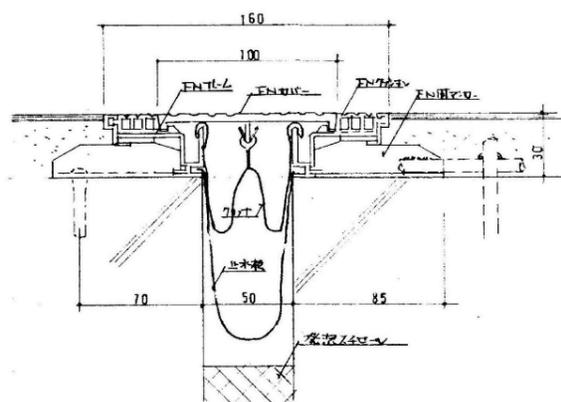


層板 EJ 50-3R 1:3

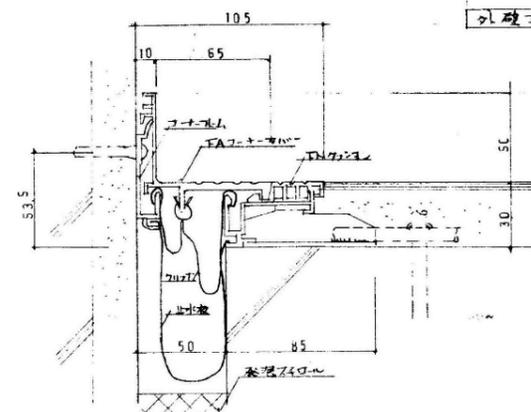


外壁×外壁 50-3EA 1:2

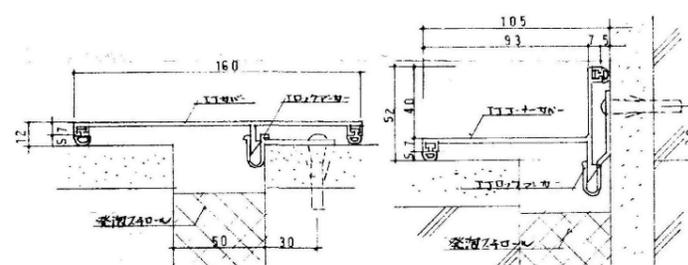
外壁×内壁 50-3EAC 1:2



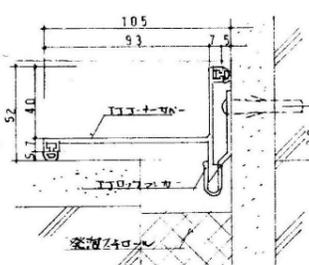
床×床 50-2FM・3FM 1:2



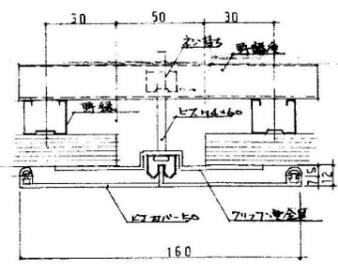
床×内壁 50-2FCA・3FCA 1:2



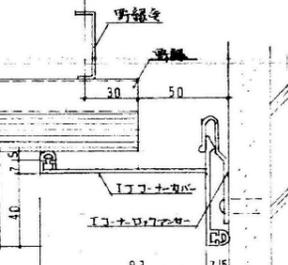
内壁×内壁 50-3I 1:2



内壁×内壁(ナ+部) 50-3IC 1:2



天井×天井 50-3K 1:2



天井×内壁 50-3IC 1:2

訂正	月日	

原設計株式会社  
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号  
TEL 084-922-3213  
FAX 084-922-3214

一般建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号  
一級建築士  
第 293830 号 甲斐 宣行

原設計-監理者  
第 号

原設計-監理者  
第 号

担当

設計年月  
2025年 3月

作図  
変更年月

福山市建設局建築部営繕課

工事名称  
旧出原浄水場解体工事

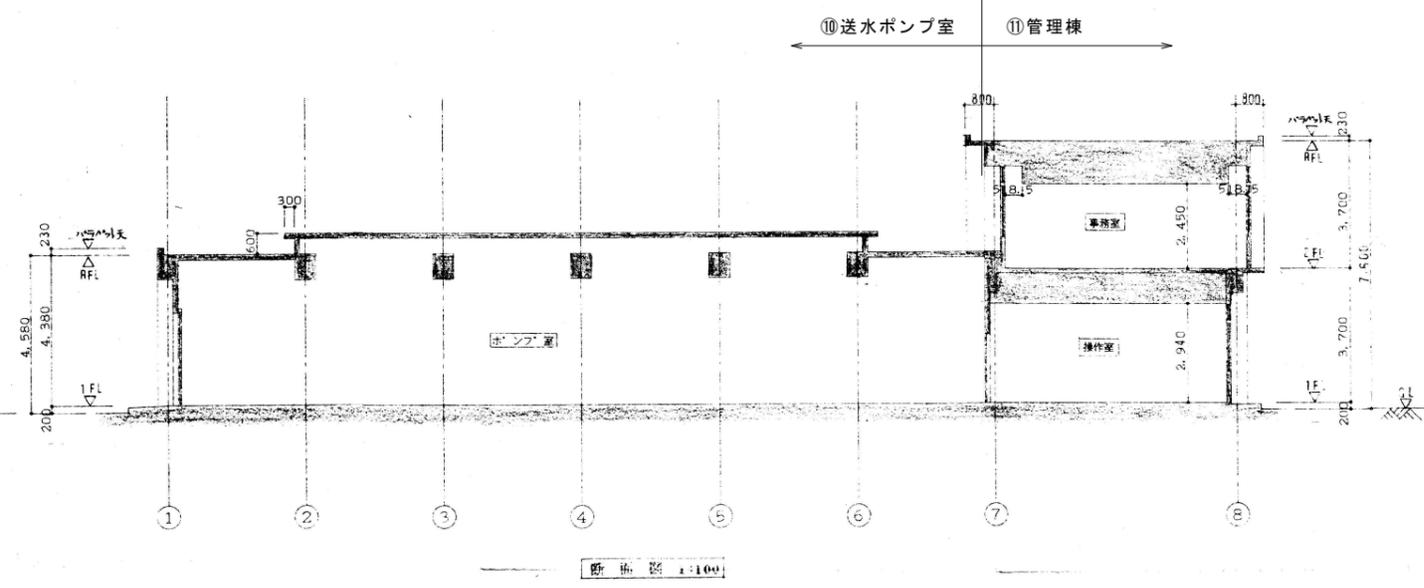
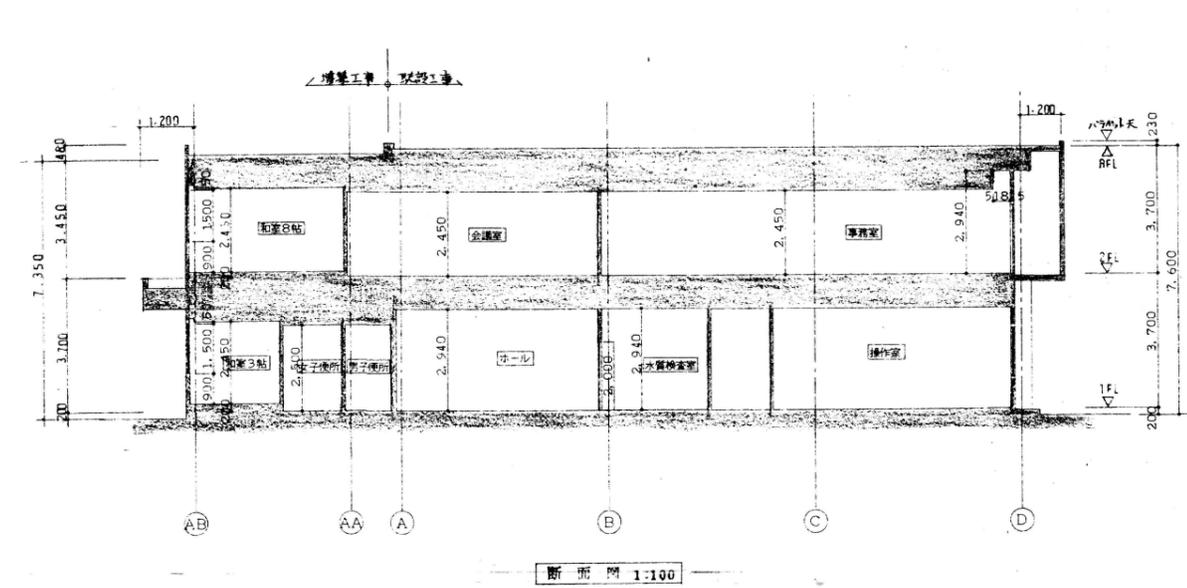
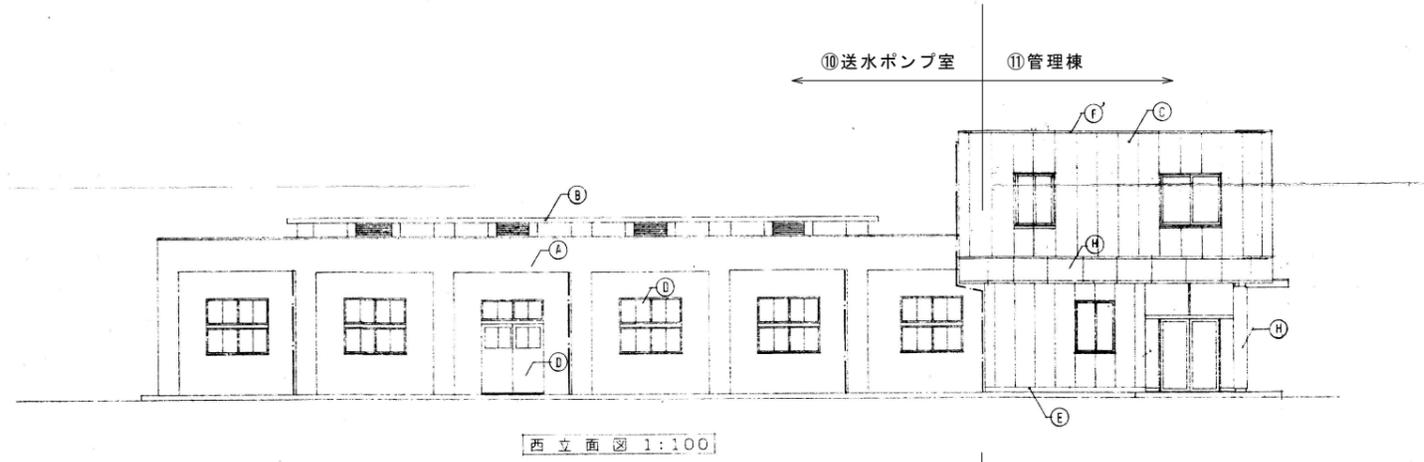
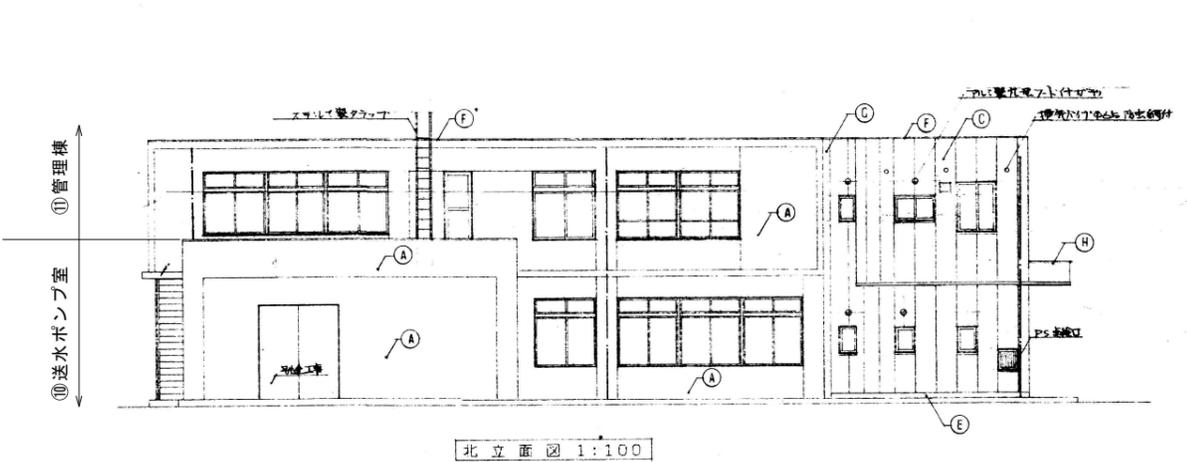
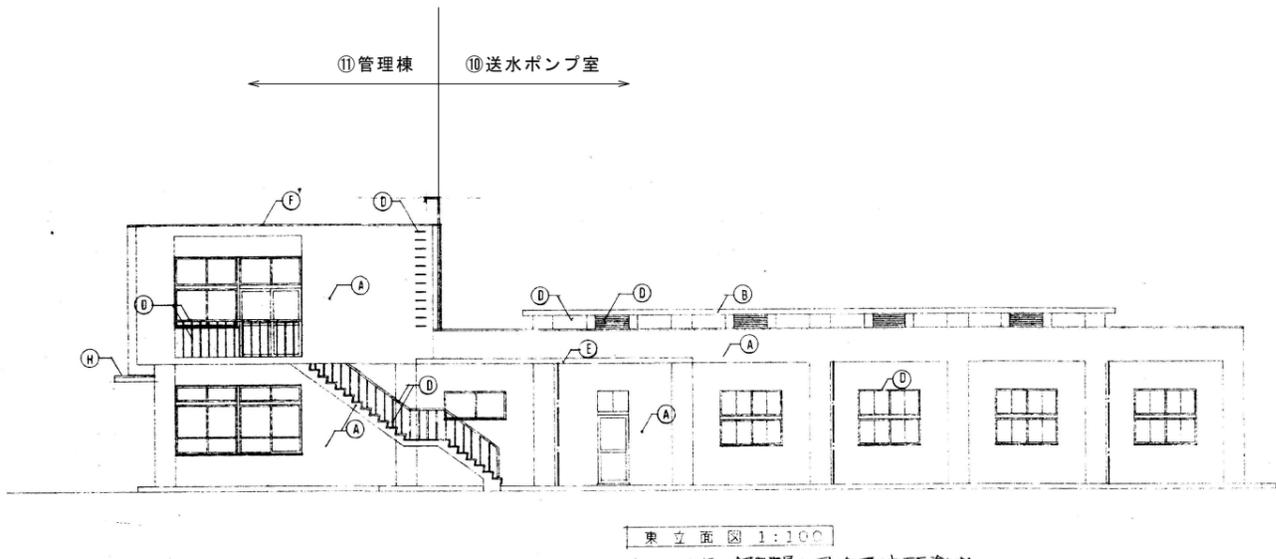
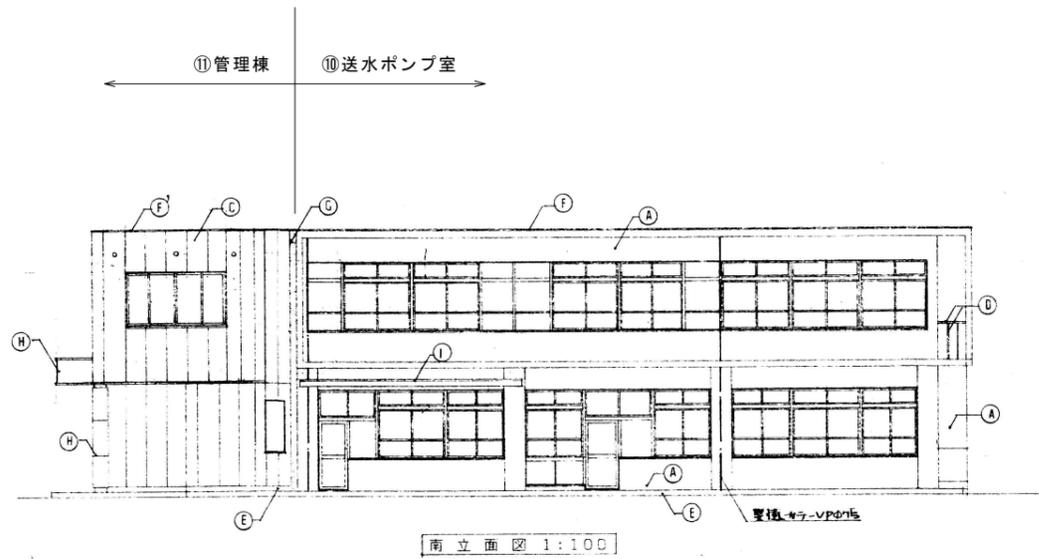
図面名称  
⑩管理棟 屋階平面図・エクスパンションジョイント詳細図

縮尺  
1:100・1:2

区分  
解体(D)

図面番号  
D-108

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



訂正	月日	


**原設計株式会社**  
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号  
 TEL 084-922-3213  
 FAX 084-922-3214

建築設計一級建築士  
 第 号  
 建築設計一級建築士  
 第 号

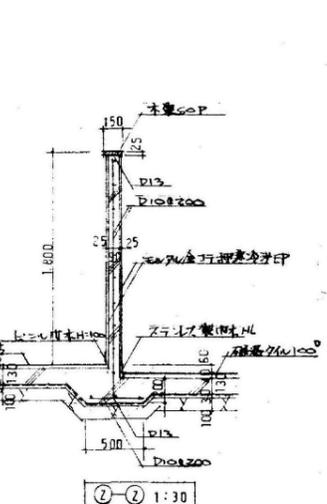
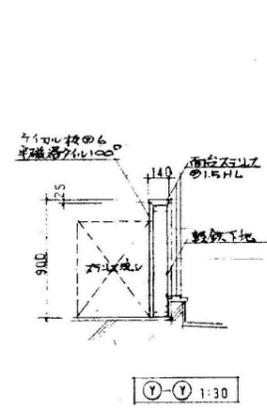
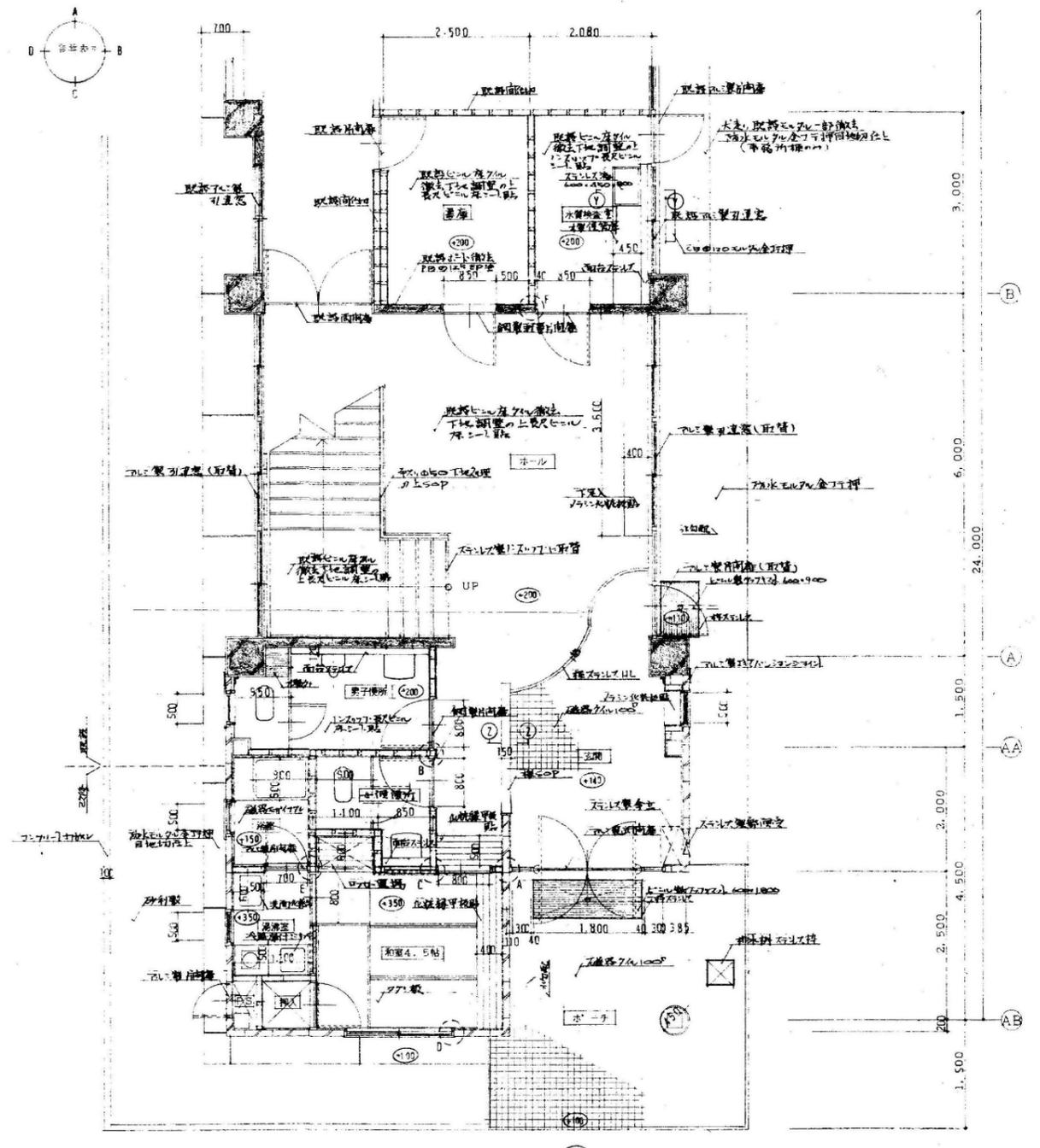
担当  
 2025年 3月  
 変更年月

福山市建設局建築部営繕課

工事名称  
 旧出原浄水場解体工事  
 図面名称  
 ①管理棟・②ポンプ室 立面図・断面図  
 縮尺  
 1:100  
 区分  
 解体(D)  
 図面番号  
 D-109

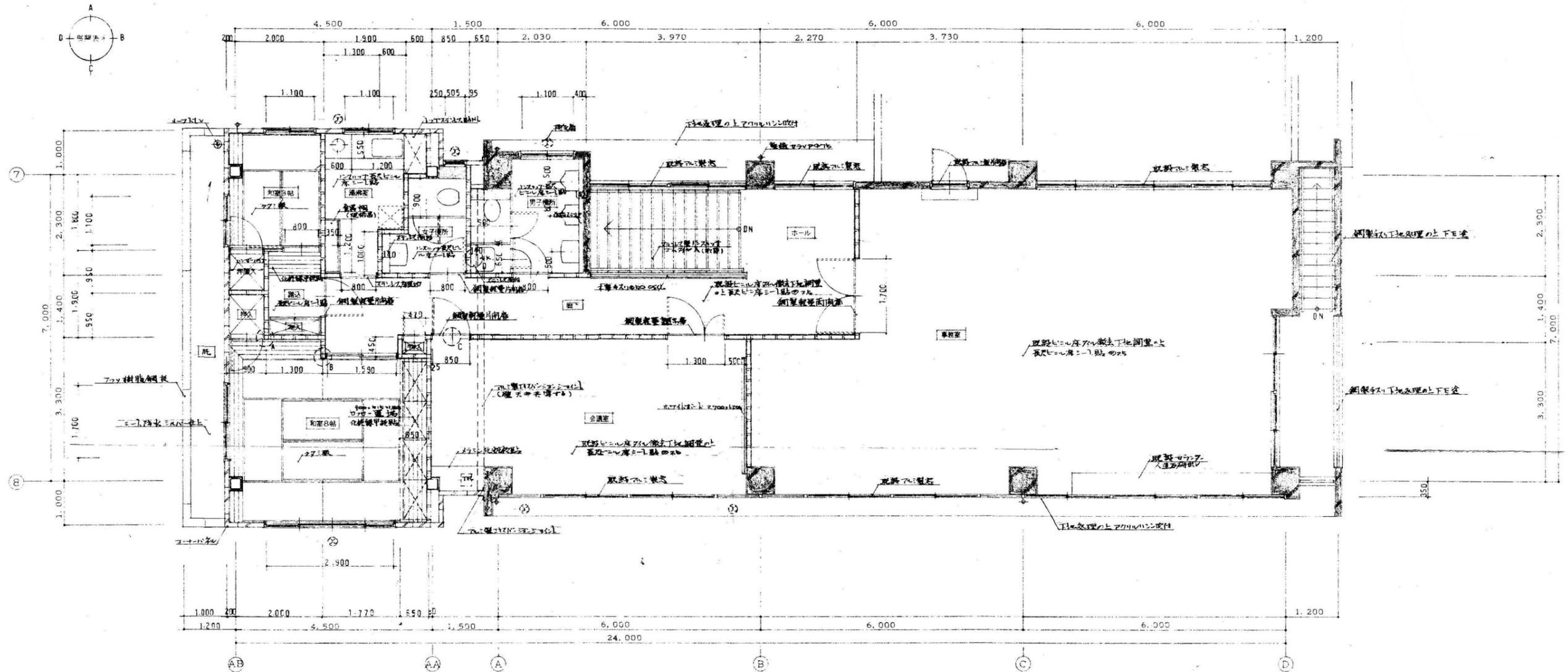
縮尺率  
 A-1: 100%  
 A-2: 71%  
 A-3: 50%





縮尺率  
A-1: 100%  
A-2: 71%  
A-3: 50%

訂正	月日	 <b>原設計株式会社</b> 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	構造設計-建築士 第 号 建築士 第 号	設計年月 2025年 3月 変更年月 第 号	担当 作図	<b>福山市建設局建築部営繕課</b>	工事名称 旧出原浄水場解体工事	区分 解体(D)
			構造設計-建築士 第 号 建築士 第 号	構造設計-建築士 第 号	図面名称 ①管理棟 1階平面詳細図	縮尺 1:50	図面番号 D-111	

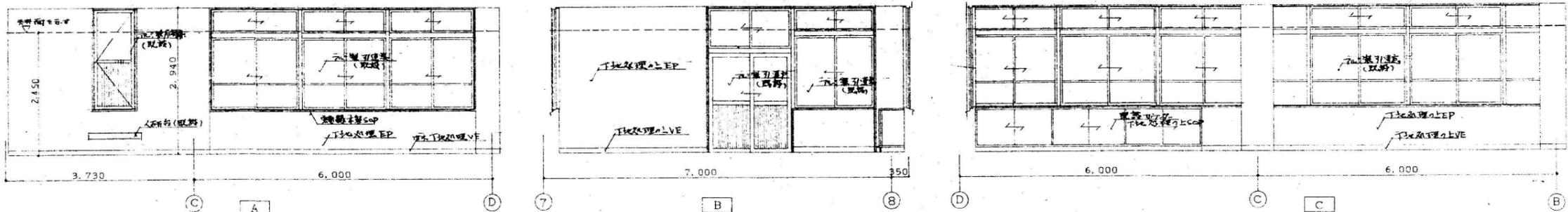


2階平面詳細図 1:50

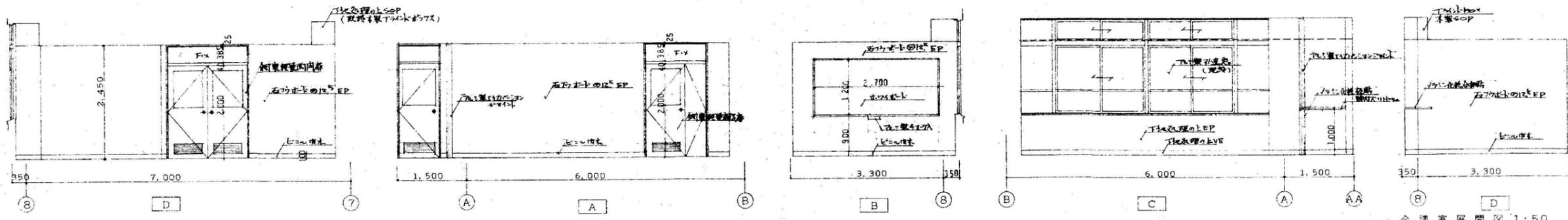
縮尺率  
A-1: 100%  
A-2: 71%  
A-3: 50%

訂正	月日	 <b>原設計株式会社</b> 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所立高知事登録第 22 (1) 0409 号 一般建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計-建築士 第 号 建築設計-建築士 第 号	担当 2025年 3月 作図 変更年月	設計年月 2025年 3月 変更年月	<b>福山市建設局建築部営繕課</b>	工事名称 旧出原浄水場解体工事	区分 解体 (D)
			図面名称 ①管理棟 2階平面詳細図	縮尺 1:50	図面番号 D-112			

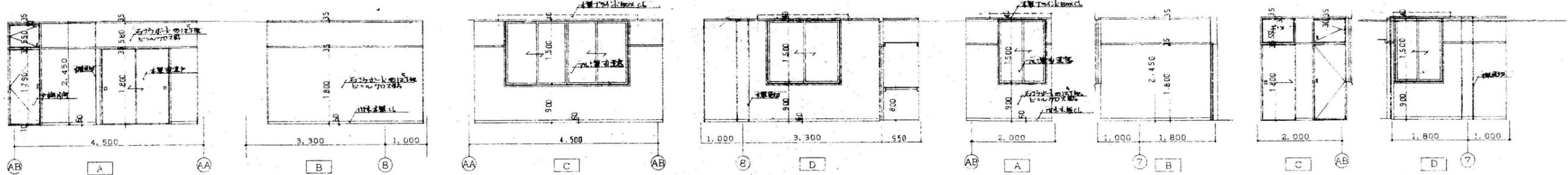




事務室展開図 1:50

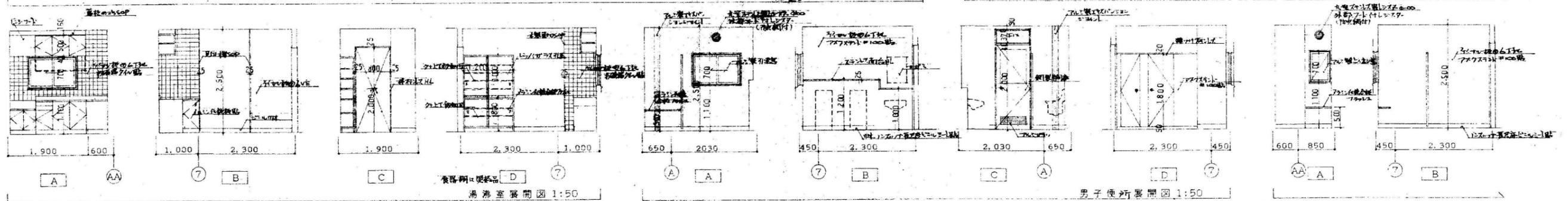


会議室展開図 1:50



和室3帖展開図 1:50

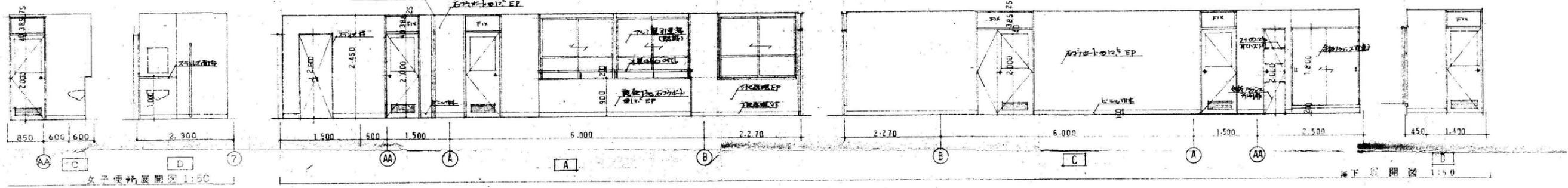
和室3帖展開図 1:50



湯沸室展開図 1:50

男子便所展開図 1:50

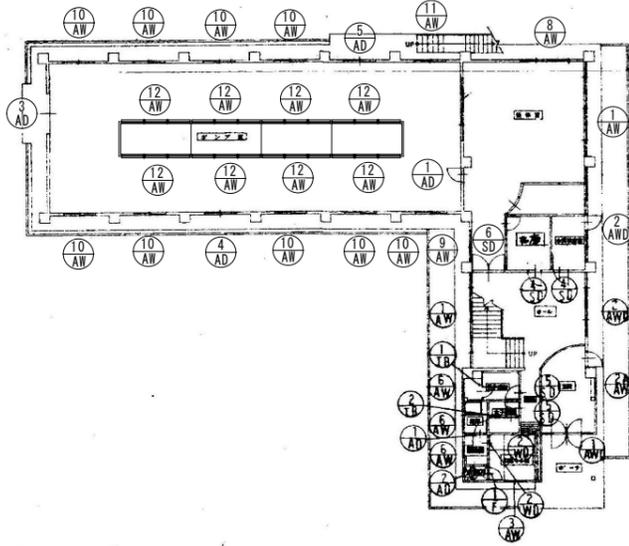
女子便所展開図 1:50



女子便所展開図 1:50

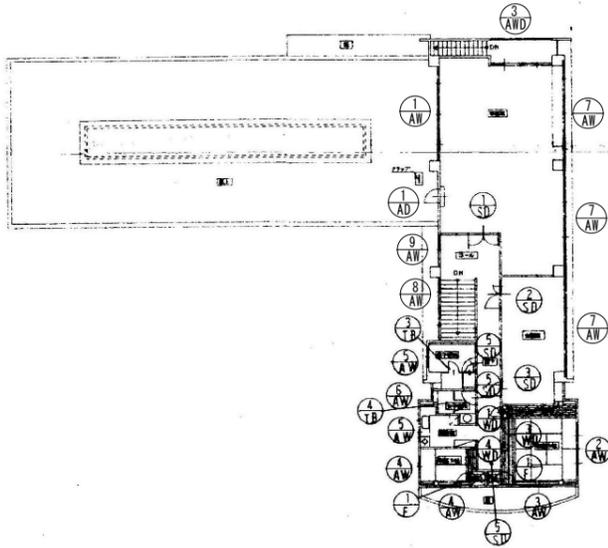
湯下展開図 1:50

訂正	月日	 <b>原設計株式会社</b> 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	建築設計-建築士 第 号 建築設計-建築士 第 号	担当 設計年月 2025年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧出原浄水場解体工事	区分 解体(D)
			縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%	図面名称 ①管理棟 展開図 (2)	縮尺 1:50	図面番号 D-114	



1 階建具配置図 1:200

1. 括弧内の数字は本工事に含まれるものとする(既設は(既)で表示)  
 但し(既)の数字は、鋼製重員の下り下り処理の上下区画を示す



2 階建具配置図 1:200

符号数量	1 SD	2 SD	3 SD	4 SD	5 SD	1 AD
形状寸法						
形式見込	鋼製両開き戸ラマFIX 134	鋼製両開き戸ラマFIX 134	鋼製両開き戸ラマFIX 134	同左	同左	アルミ製片開き戸
使用箇所	事務室	会議室	会議室	会議室	会議室	浴室
仕上材料	高級アルミ樹脂付塗装	同左	同左	高級アルミ樹脂付塗装	同左	シルバー、高級ガラス
付属金物	丁金 シンク錠、下子ロック	同左	丁金 シンク錠、下子ロック	丁金 シンク錠、下子ロック	丁金 シンク錠、下子ロック	丁金 シンク錠、下子ロック
備考	下持ステンレス	同左	下持ステンレス	下持ステンレス、アルミ樹脂	下持ステンレス	下持ステンレス、アルミ樹脂、ガラス
符号数量	2 AD	1	1	1 AW	1	2 AW
形状寸法						
形式見込	アルミ製片開き戸	アルミ製片開き戸	アルミ製両開き戸ラマFIX	同左	同左	アルミ製片開き戸付引違窓
使用箇所	PS	PS	大間	大間	大間	大間
仕上材料	アルミ樹脂	同左	シルバー、高級強化ガラス	同左	同左	シルバー、透明ガラス
付属金物	丁金 蝶番、ストッパー	同左	丁金 シンク錠、下子ロック	同左	同左	丁金 シンク錠、下子ロック、付属金物一式
備考	同左	同左	同左	同左	同左	同左
符号数量	1 AW	1	1 AW	1-2	1	1
形状寸法						
形式見込	アルミ製引違窓	同左	同左	同左	同左	同左
使用箇所	和室	和室	和室	和室	和室	和室
仕上材料	シルバー、透明ガラス	同左	同左	同左	同左	同左
付属金物	引違窓付属金物一式	同左	同左	同左	同左	同左
備考	同左	同左	同左	同左	同左	同左
符号数量	2 AW	2 AW	2 AW	4 AW	2 AW	1
形状寸法						
形式見込	アルミ製引違窓	同左	同左	同左	同左	同左
使用箇所	和室	和室	和室	和室	和室	和室
仕上材料	シルバー、透明ガラス	同左	同左	同左	同左	同左
付属金物	引違窓付属金物一式	同左	同左	同左	同左	同左
備考	同左	同左	同左	同左	同左	同左

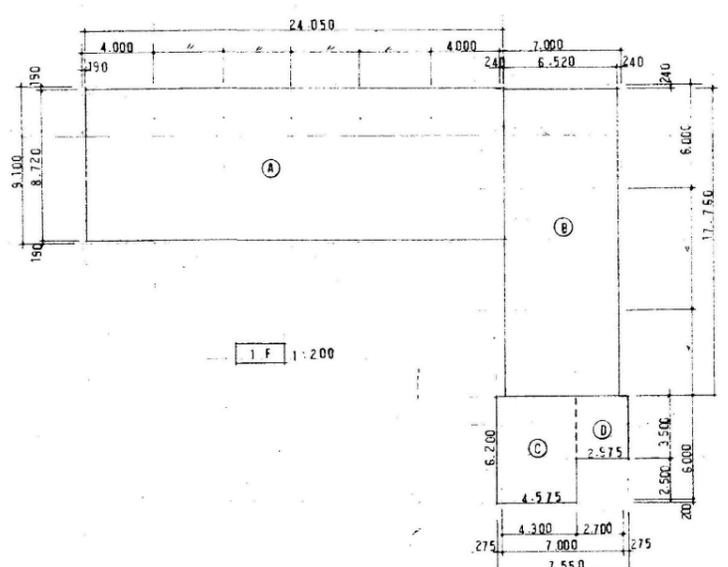
- 既存建具
- ⑥ SD 鋼製両開き戸 1800×2200 1ヶ所
  - ③ AD アルミ製両開き戸 2300×2700 1ヶ所
  - ④ AD アルミ製両開き戸 1700×2700 1ヶ所
  - ⑤ AD アルミ製開き戸 800×2700 1ヶ所
  - ⑦ AW アルミ製引違い窓 5800×2150 3カ所
  - ⑧ AW アルミ製引違い窓 3500×2150 2カ所
  - ⑨ AW アルミ製引違い窓 1700×2150 2カ所
  - ⑩ AW アルミ製引違い窓 1700×1500 9カ所
  - ⑪ AW アルミ製引違い窓 1700×700 1ヶ所
  - ⑫ AW アルミ製FIX窓 1700×450 8ヶ所
  - ⑬ AW アルミ製両開き戸+引違い窓 1700×700 1ヶ所

符号表	1	2	3	4	5	6	7	8
形状寸法								
形式見込	合板フローリング	合板フローリング	合板フローリング	合板フローリング	フローリング	フローリング	フローリング	フローリング
使用箇所	和室	和室	和室	和室	和室	和室	和室	和室
仕上材料	化粧合板貼	化粧合板貼	化粧合板貼	化粧合板貼	化粧合板貼	化粧合板貼	化粧合板貼	化粧合板貼
附属金物	丁番	引手	同左	同左	同左	同左	同左	同左
備考								

符号表	1
形状寸法	
形式見込	化粧フローリング
使用箇所	和室
仕上材料	化粧合板貼
附属金物	丁番
備考	

面積表

階	用途	既設部分													合計							
		増築	公舎(イ)	公舎(ロ)	物置	倉庫	車庫	倉庫	倉庫	倉庫	倉庫	倉庫	倉庫	倉庫								
1F	増築面積	38.77	47.31	39.75	55.89	9.94	119.89	80.00	52.44	45.65	32.61	10.35	12.74	6.48	325.51	16.20	52.73	59.00	49.60	16.37	3.68	1074.91
2F	増築面積	53.91													136.51							190.42
	既設面積	92.68	47.31	39.75	55.89	9.94	119.89	80.00	52.44	45.65	32.61	10.35	12.74	6.48	462.02	16.20	52.73	59.00	49.60	16.37	3.68	1265.33
	増築面積	55.16	49.81	39.75	55.89	9.94	119.89	80.00	52.44	47.15	32.61	10.35	12.74	6.48	325.51	16.20	52.73	59.00	49.60	16.37	3.68	1095.30
	敷地面積																					32242.91

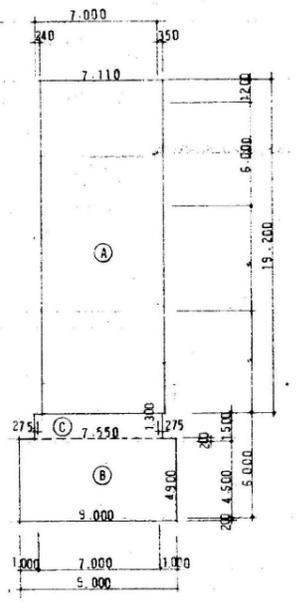


1F 床面積算定表

①	24.050 × 8.720 = 209.716	325.511 (既設)
②	6.520 × 17.760 = 115.755	
③	4.575 × 6.200 = 28.365	38.777 (増築)
④	2.975 × 3.500 = 10.412	
合計		364.288

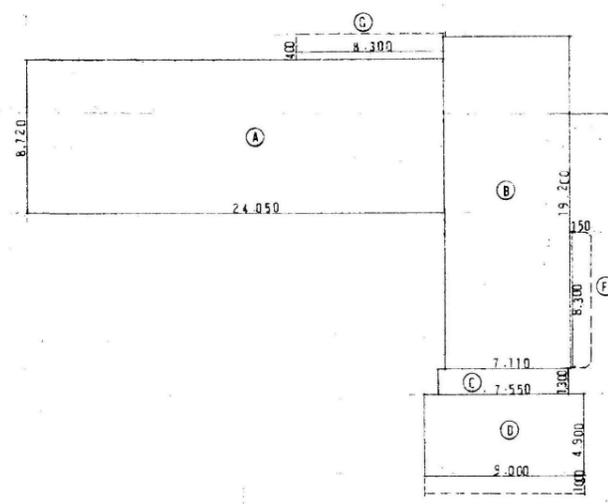
面積表

階	増築	既設	合計
1F	38.777	325.511	364.288
2F	53.911	136.511	190.422
合計	92.688	462.022	554.710



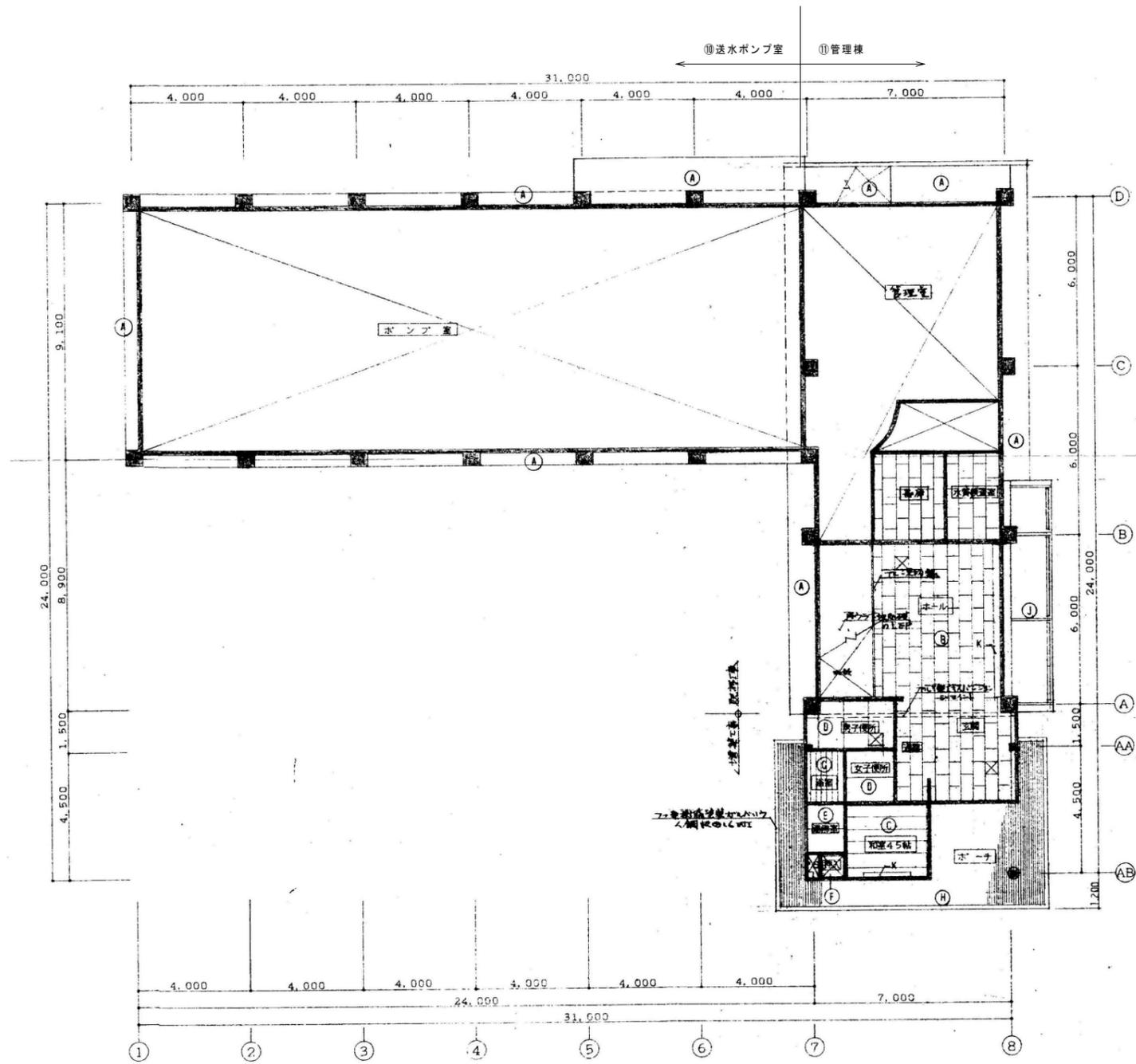
2F 床面積算定表

①	7.110 × 19.200 = 136.512	(既設)
②	9.000 × 4.300 = 38.700	53.915 (増築)
③	7.550 × 1.300 = 9.815	
合計		190.427



3F 床面積算定表

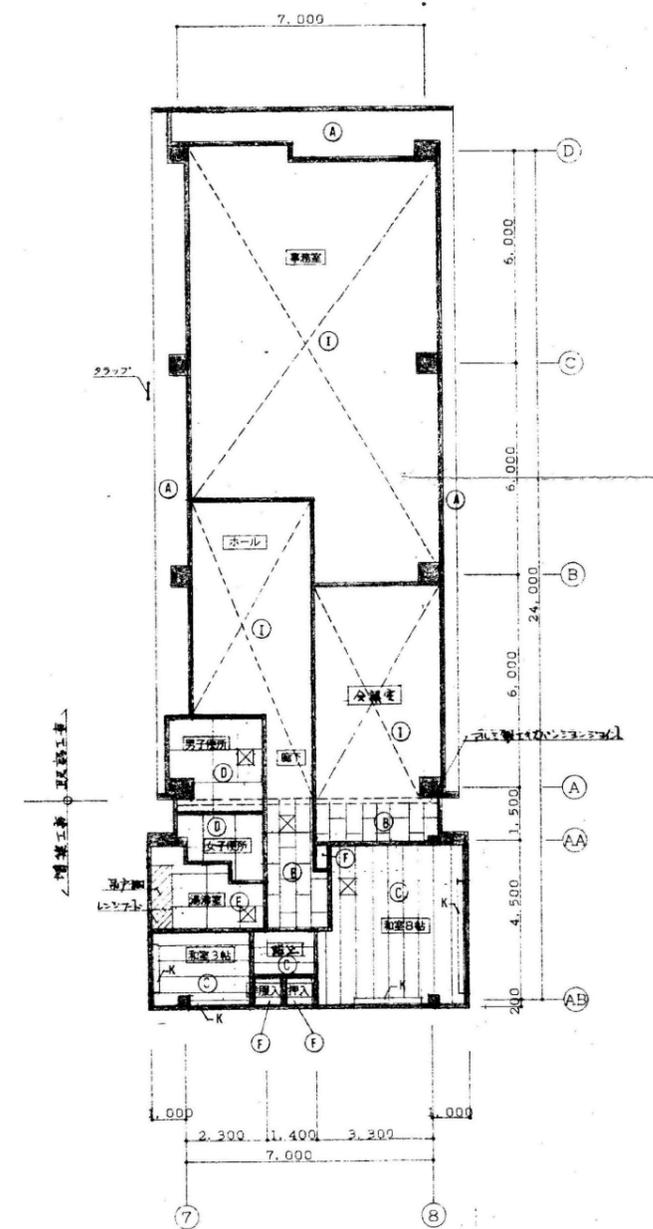
①	24.050 × 8.720 = 209.716	
②	7.110 × 19.200 = 136.512	
③	7.550 × 1.300 = 9.815	
④	9.000 × 4.900 = 44.100	55.160 (増築)
⑤	0.150 × 8.300 = 1.245	
⑥	8.300 × 0.400 = 3.320	
合計		404.708



1階天井伏図 1:100

-  本工事に含まれる部分を示す
-  取壊を再利用(撤廃の上とは不同)部分を示す
- ※ 天井の取壊は必ずしも撤廃も使用済み

- 区別
- ① 水落清掃下地処理の上アクリルシール付(アクリル)
  - ② 化粧石膏ボードの厚さ910 2階部EP塗
  - ③ . . . . . (20mm)
  - ④ アスファルト 4mm厚
  - ⑤ 20mm厚の4mm厚の点VE
  - ⑥ 板金2mm厚
  - ⑦ バスケット
  - ⑧ 石膏ボードの厚さ125mm
  - ⑨ 下地補修の上EP塗
  - ⑩ 20mm厚の75mm厚の0.6mm厚の点VE付 銀粉FE塗
  - ⑪ 石膏ボード 4mm厚
  - ⑫ 石膏ボード 4mm厚
  - ⑬ 石膏ボード 4mm厚



2階天井伏図 1:100

※ 増築部分はアクリルシールの厚さ910

訂正	月日	

**原設計株式会社**  
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号  
 TEL 084-922-3213  
 FAX 084-922-3214

一般建築士事務所  
 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号  
 一般建築士  
 第 293830 号 甲斐 宣行

原設計-建築士 第 号	
原設計-建築士 第 号	

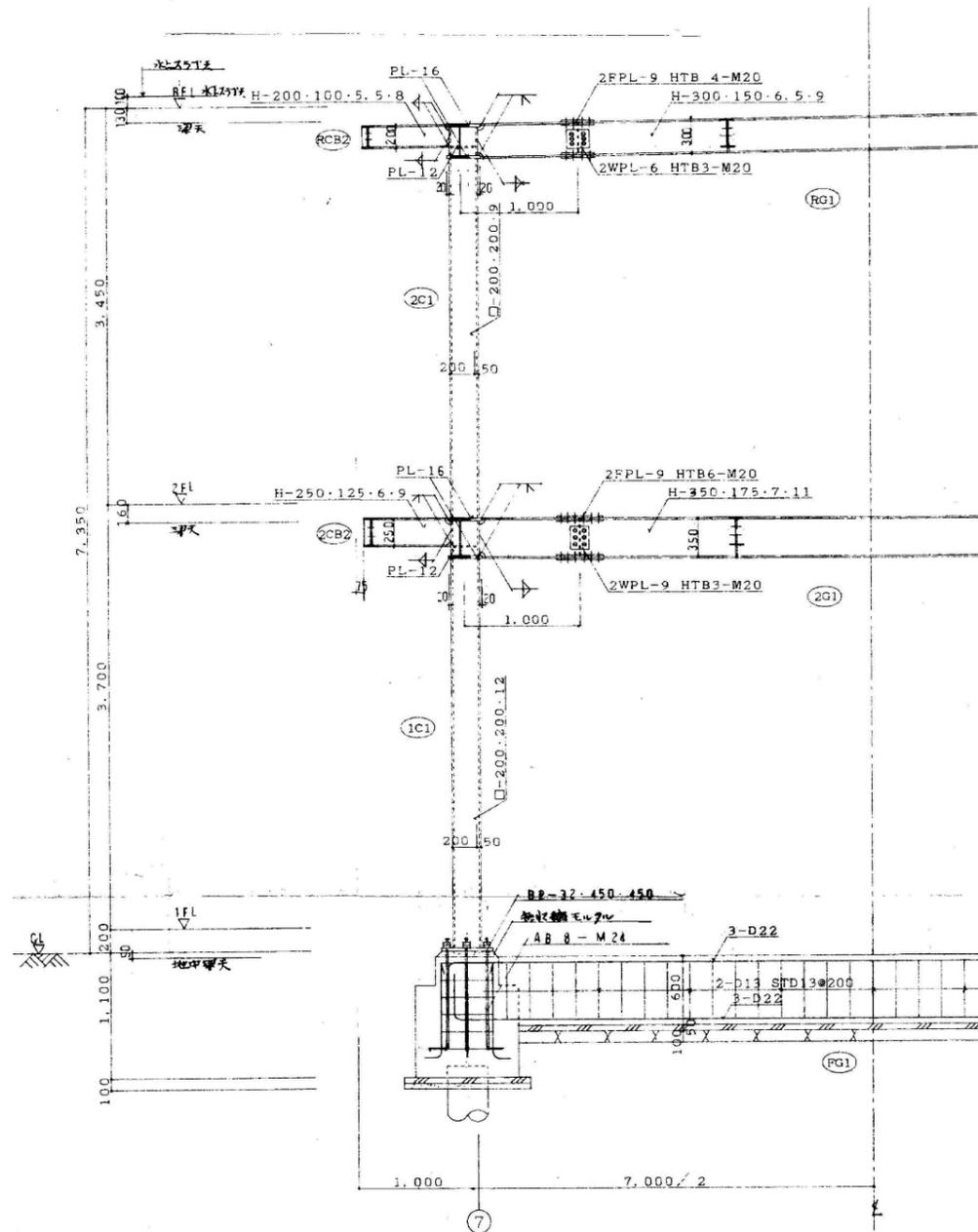
担当	設計年月	2025年 3月
作図	変更年月	

福山市建設局建築部営繕課
--------------

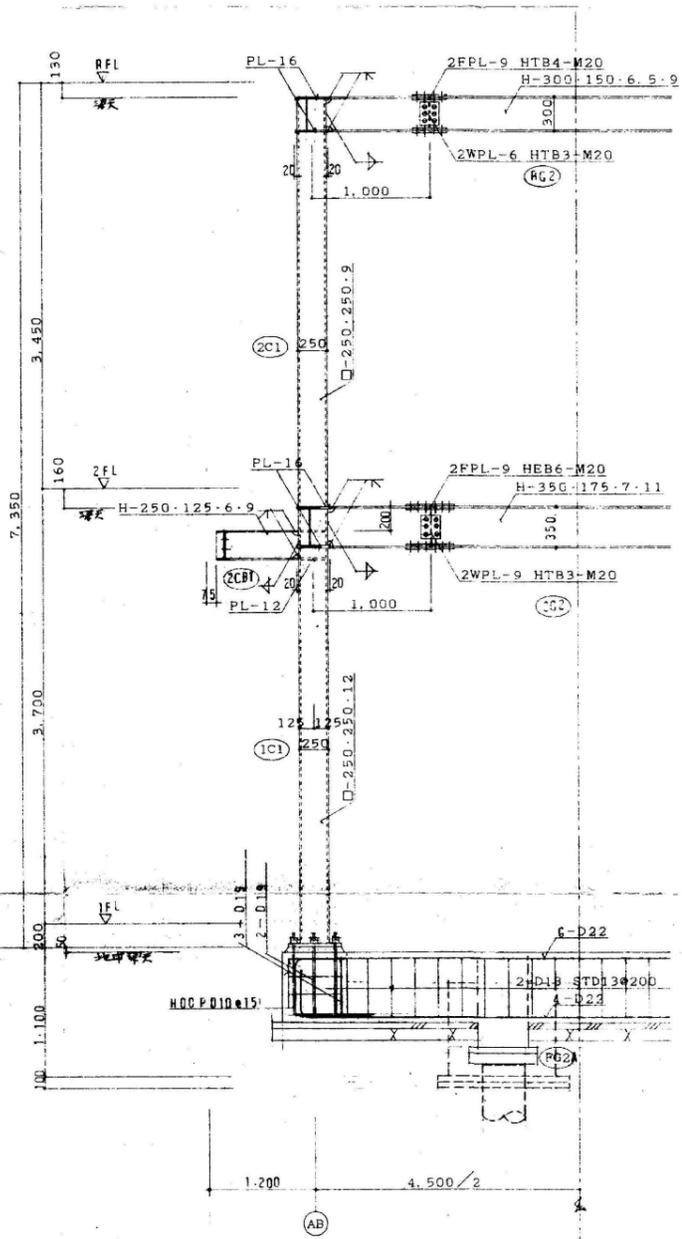
工事名称	旧出原浄水場解体工事
図面名称	⑩管理棟・⑪送水ポンプ室 天井伏図
縮尺	1:100

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%
区分	解体 (D)
図面番号	D-117

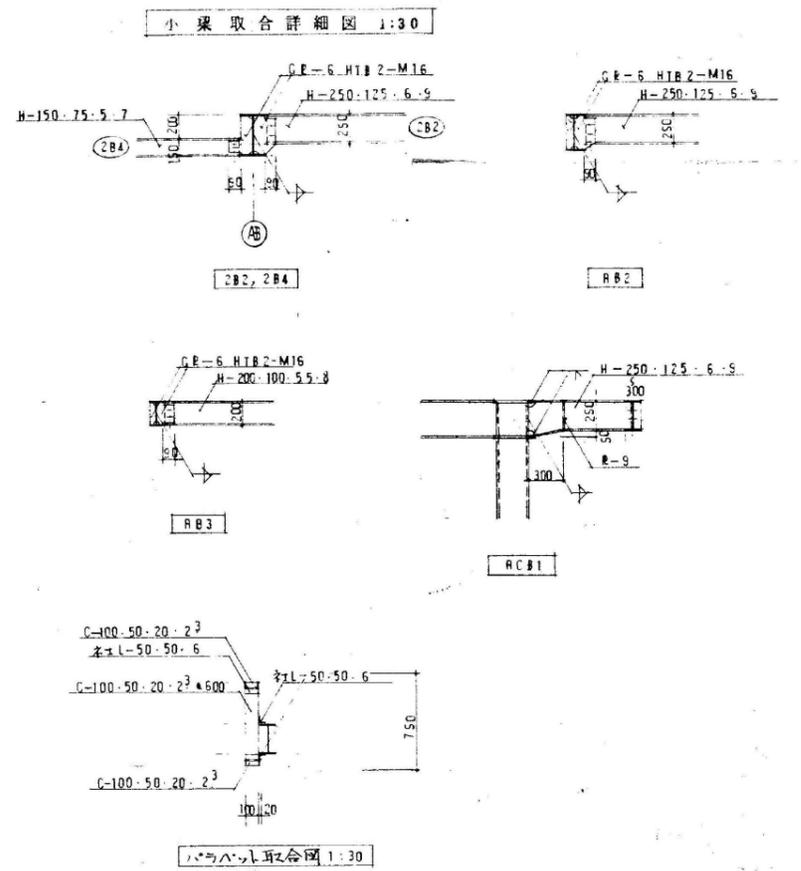




AA 通軸組詳細図 1:30



7 通軸組詳細図 1:30



訂正	月日	


**原設計株式会社**  
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号  
 TEL 084-922-3213  
 FAX 084-922-3214  
 一級建築士事務所所長 甲斐 宣行  
 一級建築士 第293830号

原設計-監理者	第 号	
監理者-監理者	第 号	

担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課
	2025年 3月	
作図	変更年月	

工事名称	旧出原浄水場解体工事	区分	解体(D)
図面名称	⑩管理棟 AA・7通軸組詳細図	縮尺	1:30
		図面番号	D-119

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%